



# The Star in the West

## 東京西ワイズメンズクラブ会報

THE SERVICE CLUB FOR THE YMCA

THEY'S MEN'S CLUB OF TOKYO-NISHI(03)3202-0342

c/o TOKYO YMCA YAMATE CENTER,2-18-12 NISHIWASEDA,SHINJUKU-KU,TOKYO 169-0051,JAPAN

- 国際会長主題 「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 東日本区理事主題 「未来に向けて今すぐ行動しよう」
- あずさ部部長主題 「変わるに挑戦！」
- 東京西クラブ会長主題 「楽しく、元気で、そして仲間を迎えよう！」

### 2022年9月号

NO 552

自分の命を救いたいと思う者は、それを失うが、わたし（イエス・キリスト）のために命を失う者は、それを得る。

新約聖書マタイによる福音書16章25節

### 私たちの次の100年

神谷 幸男

今年ワイズメンズクラブ運動が創設されて100年になります。100年の間営々と先輩たちがYMCAをサポートし、また独自の社会奉仕活動を続け、社会にその成果を伝えてきたことは素晴らしいことだと思います。そのワイズメンズクラブの一員であることに誇りを覚えます。

その100年を記念して今年11月15日～17日に台北において100周年記念集會を持つことになっています。そのプログラムの詳細な内容はまだ承知していませんが、過去の100年を回顧しその成果を会員一同が分かち合っ共有し次の100年に向かって入念に計画された計画に従って邁進することを誓い合うことになるでしょう。国際会長は、YMCAのために何かしたいと考えている人たちの小さな計画から始まったこの活動は、いまやレガシーとなっています。私たちの次の100年の目標は、私たちの運動を活性化し、より目に見える、活気

に満ちた、インパクトのあるものにする事で、会員数を飛躍的に増加させ、次の100年にとって相応しいものにする事です。今こそ、「新世紀」のための土台を築くときです、と語っています。(国際会長ニュース2022年7月号日本語版から)

世界中からワイズの仲間が集まる「100周年記念集會」に、特に台北で行われるのでDBC台北セントラルクラブの全員が参加されるでしょうから、私も是非参加したいところですが、諸般の都合でこの集會に参加できないのがとても残念ですが、ネットで参加したいと思っています。

さて、私たち東京西クラブは次の100年に向かって、今、何をすべきでしょうか。100年前の初期のクラブメンバーが抱いていた思いを体得できるような、しかも楽しい毎月の例會を持つことでしょう。そしてその例會に新人を招き会員増強に繋げることであると思います。



黄金色になった稲穂（深大寺付近）

### WHOウォーク野川④予告 大沢の里から調布・深大寺

野川下りシリーズも猛暑を避けて5月、6月はペースダウンをし、夏休みで休みました。今回は三鷹の大沢の里から野川に沿った低地を歩き途中で立川台地のぼり、名刹、深大寺付近で國分寺崖線の湧き水に出会い、再び野川に沿い、甲州街道を江戸時代の宿場跡を布田まで歩きます。

期日は、9月24日（土）です。その頃には、空も風も、野も丘も秋めき、赤とんぼが舞っているでしょう。

詳しくは、P4のご案内を。

### クラブ役員

- 会長 高嶋美知子
- 副会長 吉田 明弘
- 書記 本川 悦子
- 会計 篠原 文恵
- 担当主事 横山 弥利

8月の記録				ニコニコ	0円
在籍者数	12人	メネット	1人	クラブファンド	0円
(内功労会員)	1人				
出席者数	9人	コメント	1人	ファンド残高	114,715円
メーカー	1人	ビジター	2人	ホテ校ファンド	9,750円
出席率	91%	ゲスト	0人	ホテ校残高	26,650円
内Zoom参加	0人	出席者合計	12人	WHO参加者	1人

## 9月例会のご案内

## 強調テーマ： EMC

新型コロナと猛暑に悩まされ、長く感じた夏も終わり活動し易い候とはなりました。例会も本来あるべき姿に戻ってきました。

9月例会は先に行われた東日本区役員交代式のダイジェスト版を鑑賞します。ワイズにおける役員に就任することの意味を式文と併せて改めて考えたいと思います。

日時：9月15日(木) 18:30~20:30

会場：ウエルファーム杉並 03-5335-7318

会費：1,500円

担当：C班(神谷、河原崎、本川、横山)

## HAPPY BIRTHDAY

23日 本川 悦子 25日 高嶋 君弘

受付 神谷 幸男  
司会 本川 悦子

開会点鐘 高嶋美知子会長  
ワイズソング 静唱 一同  
聖句朗読・祈祷 神谷 幸男  
会長挨拶とゲストご紹介 会長  
会食

## YouTube 鑑賞「東日本区役員交代式」

一同  
ハッピー・バースデー  
諸報告 会長  
YMCA 報告 横山 弥利  
ニコニコタイム 一同  
閉会点鐘 会長

## — 8月事務会報告 —

日時：8月25日(木)

17:00~18:45

会場：ウエルファーム杉並4階

出席者：河原崎、篠原、本川、  
村野、吉田

<報告事項>

①7月通常会計報告を承認した。  
納涼例会(クリスマス例会)も通常会計報告に加える。

②9月3日の甲府やまなみクラブチャーターナイトにクラブから7人が参加申し込みをした。

③あずさ部長の当クラブ公式訪問は11月に行なうことになった。

④WHOウォーキングは9月から再開する予定。

<協議事項：例会関係>

①9月例会は区が制作した東日本区理事、役員交代式の映像を観て、区とワイズのリーダーシップについて思いをはせる。近隣クラブの来会を歓迎する。当番は、C班(神谷、河原崎、本川、横山)

②9月からの事務会の会場は、8月、12月を除いて山手センターのホテル学校で行なう。

③10月の卓話者を早急にお願いする。当番はA班(大野、篠原、

村野)

④11月の卓話は、大相撲元中村部屋親方、中澤栄男さん(元関脇富士桜)夫人の中澤嗣子さん(おかみさん)に、相撲部屋の日常についてお話し。当番はB班(吉田、石井、鳥越)

<協議事項：例会以外>

①地元で、気軽に打ち合わせをする会場が利用できるように、クラブとして「すぎなみ協働プラザ」に登録をする。

②東京YMCAのチャリティーランに対する支援をこれまで山手センターに関わる東京サンライズクラブ、東京たんぽぽクラブと共同で行なってきたが、チャリティーラン自体が変わってきたため、本年度、どう対応するか、3クラブで話し合うことを提案することにした。

<今後の予定>

◎甲府やまなみワイズメンズクラブチャーターナイト 9月3日

◎富士山例会(富士五湖) 9月24-25日、富士山五合目 佐藤小屋

◎あずさ部部大会 10月15日  
山梨県忍野村・いちい亭  
富士五湖クラブ20周年記念例会 同上 (書記・本川悦子)

東西日本区、神戸に集合  
4奉仕団体のフォーラムも

日本区が東西に分かれて、25年になります。今年はワイズ誕生100年でもあります。久しぶりに東西交流会を開き、次の100年を語り、交流を深めようと、来年早々第3回東西交流会が計画されています。

今回の大きな呼び物の一つは、国際奉仕クラブのフォーラムです。ワイズだけでなく、他の名だたる国際奉仕団体も会員減少に悩んでいます。今こそ国際に、地域に奉仕が求められているにもかかわらず、なぜ奉仕団体は伸びないのか、必要とされないのか、新たな展開は出来ないのか。ロータリークラブ、ライオンズクラブ、キワニスクラブの方々と一緒に考え、方向性を探る画期的試みです。

もちろん各種お楽しみや、啓発的なプログラムもあります。

詳細は、今後逐次報告されます。

期日：2月4日(土)・5日(日)  
会場：ANAクラウンプラザホテル神戸、神戸YMCA  
登録費：20,000円(宿泊費は含みません)



納涼例会は、参加者数と会場の広さが一致しました

## ワイズソング原曲、お祝いの花束 ー 8月納涼例会報告ー

8月例会は、18日(木)夜、荻窪駅北口商店街・ビストロ天下井(あまがい)で、納涼例会として行いました。店は路面店で、ワンフロアで、今は15人以内と言う条件も好都合でした。

今回は広く案内をしましませんが、樋口順英さん(東京グリーン)、藤井寛敏さん(東京江東)がゲスト参加いただきました。

高嶋会長がギャベルでテーブルを優しく叩いて開会宣言。本川悦子さんが、ワイズソングの原曲、『フィンランディア』の素晴らしい演奏があったからと、スマホで流し、クラシック音楽解説で定評のある樋口順英さんに短く説明をお願いしました。フィンランド国民がロシアのニコライ皇帝の压制下で虐げられていたとき、大作曲家シベリウスがつくったこの曲が国民を鼓舞し、後の独立に結びつき、“第二の国歌”と言われている話は、現在の世界情勢を思わせました。

食事は、北海道産の野菜の種類が豊富なフレンチ。飲み物は各自好みでそれぞれの適量を注文しました。

今月のお誕生の方々のお祝いの花束が事情で調達できませんでしたが、ところが、なんとということか、ビジターの藤井寛敏さんが、花束を持参されていました。おかげでお祝いが出来ました。

クラブの重要事業のホテル学校の外国人留学生の奨学金の資金が不足気味です。担当の村野絢子さんが、手作りの「りんごのクランブル」を焼いて持参、アピールをしました。お店の了解をとってからと、試食をお願いしましたら「とってもおいしい」とお墨付き。皆さんにも味わっていただき、ファンにも協力いただきました。定刻、高嶋会長のギャベルで閉会しました。(吉田明弘)

出席者:<メンバー>大野、神谷、河原崎、篠原、高嶋、本川、村野、横山、吉田、<メネット>神谷、<ビジター>樋口順英(東京グリーン)、藤井寛敏(東京江東)、<MU>石井(7月事務会)

## 甲府やまなみクラブ誕生

甲府やまなみクラブチャーターナイトが9月3日に甲府市のホテル談露館で行われました。

クラブから7人が出席、東京江東クラブの藤井寛敏さん、安齋克茂さんが往復ともご一緒でした。

会場に行く前に駅前の藤村記念館に寄りました。明治初期に建てられた洋風建築の小学校ですが、昭和生まれの私たちでも石炭ストーブ、木の机と椅子など懐かしいものがありました。

談露館では久しぶりに会うワイズたちは再会を喜んでいました。

認証状伝達式は佐藤東日本区理事から国際協会加盟認証状が

甲府やまなみワイズメンズクラブ会長に伝達されました。11人のメンバーにはチャーターバッジが装着され、紹介されました。

Change! 2022 推進委員長・栗本治郎さん、元国際会長・藤井寛敏さんほか、北東部や関東東部、東新部、湘南・沖縄部、富士山部からお祝いと励ましの祝辞がありました。

スポンサーの甲府クラブから贈呈されたクラブバナーが披露され、ランチョンベル、万国旗は東日本区から贈呈されました。

懇親会では乾杯の前に元気なフラメンコの踊りとギターが奏でられ、少し疲れた頭と体が癒されました。

丸テーブルは4人がけ、アクリル板で仕切ってありましたが、次々に出される料理とアルコールで、久しぶりの会話がはずんでいました。

私たちにとっては子、孫世代にあたる甲府やまなみクラブの若いメンバーにこれからの活躍を期待したいと思った一日でした。

(本川悦子)

## 山田さん夫妻の近況 夏にクリスマス演奏会の話

今は施設で生活されている会員、山田利三郎さんご夫妻の奥様紀子さんから、私に施設で演奏をしてもらいたいと電話依頼がありました。これまで中止されていた施設でのコンサート等の催しができるようになったので、私に白羽の矢が立ったようです。

所属している弦楽合奏団のメンバーの快諾を得ましたが、私たち素人楽団には、準備期間が必要なので、12月にクリスマスコンサートとすることにしました。

紀子さんの大好きな Brahms の「ハンガリー舞曲第5番」のリクエストがあり、クリスマスに向けた演奏(きよしこの夜など)を暑い夏に汗をかきながら練習をしています。(本川悦子)



## 爽秋の野川中流を楽しむ — 9月WHO案内—

WHO ウォーキングの野川下り、今月は4回目となります。猛暑のため、ややペースを落としています。今回は中流を三鷹から甲州街道、國領付近まで、爽秋の空と水流と森林を楽しみます。途中、深大寺で東日本最古の白鳳期の釈迦如来像を拝観できます。

期日:2022年9月24日(土)

コース:JR 三鷹駅—<バス>—竜泉寺バス停—大沢の里—御塔坂橋—深大寺—水生植物園—深大寺城址—祇園寺—虎狛神社—京王線調布駅(当日コース変更をする場合があります)

集合・出発:JR 三鷹駅南口 10:00

解散:京王線調布駅 14:30頃

携行品:名札、マスク、弁当、飲料水、雨具、パンフレット「野川マップ」。初参加の方は、当日お渡しします。

参加費:300円、施設入園料 200円。初参加の方は、名札 200円。国宝釈迦如来拝観料は個人負担。



秋の気配ハラタケ:最初はゴルフボールかマシュマロのようですが、後日見たら、円盤状でキノコらしくなってきました。色はピンクに変わり、茶色になるそうです

### 秋から冬のWHOウォーク 野川下りの終盤です

WHO ウォーキングの野川下りも、順調に進めば多摩川への合流点まで、あと3回か4回です。

10月は次のように予定しています

期日:10月22日(第4土曜日)

みどころ:今はほとんど面影のない甲州街道の宿場、布田四宿の一部歩き、野川に沿って、江戸城とゆかりのある世田谷・喜多見に入り、小田急線車両基地の屋上の緑地、きたみふれあい広場、湧水のある神明の森みつ池等を巡ります。

## YMCA Today

■ホテル学校の就職活動は好調です。内定率97.8%となり、コロナ禍であっても旅行需要の回復傾向、訪日外国人の受け入れ開始、新規ホテルの開業も多数予定され、企業の採用意欲が高まっています。夏季休暇期間中、多くのお客様がお越しになるリゾートホテルでの実習は無事終了。今年は希望者63人が参加しました。

9月12日の新学期スタートと合わせて1年生全員が参加する6ヵ月間のホテル実習が開始されます。都内を中心に横浜地区や浦安・舞浜地区など36ヵ所のホテルに分かれ行われます。実践経験が糧となり成長することが楽しみです。

■水上安全教育として長年全国

のYMCAで取り組んでいる「ウォーターセーフティーキャンペーン」が今年も実施されました。ウエルネス東陽町と山手センターでは6月19日に親子を対象に着衣泳の体験会を開催。水上安全の基本が学べる動画のHP掲載や、ハンドブックの配布などを行っています。また、今年の夏季プログラムは水泳の他、6つの宿泊キャンプ、デイキャンプ、語学スクールなどが実施されました。

■バングラデシュYMCA同盟からの要請を受け、6月21日にバングラデシュのビリシリを襲った豪雨による洪水被災者緊急支援として、7月末に国際協力募金から約7,000ドルを送金しました。現地スタッフを通して、500人の被災者に米、豆、オイル、じ

## 東京世田谷クラブ訪問記

東京世田谷クラブのブリテン8月号に8月例会のメインプログラムが「南コミュニティセンター活動報告」とあったので、地域に密着したYMCAの活動について見聞を拡げたいと思い、同クラブ小川圭一さんにZOOM参加を申し出たところ、即時快諾を得ました。メインプログラムは、南コミュニティセンターの活動報告ということですが、liby事業活動報告、YMCA保育園の活動報告に先立って秋田正人地域福祉事業部統括から沿革、見直し等について多くの資料の提示のもと詳細な報告がなされました。

liby事業活動報告はスタッフの高橋さんと押山さんから、保育園の活動報告が同園長の今井さんから報告されました(詳細は割愛します。尤も難聴のため聞き取れなかった部分かなりあり)。

事業に関わっておられる皆さんが真摯に取り組んでおられることを改めて感じられ、感動しました。出席者は、会場出席9人ほどZOOM参加者5人、計14人程でした。(神谷幸男)

ゃがいも、経口補水液等の食料が届けられました。

■「第25回会員芸術祭」はHP上に作品の画像を掲載するオンライン方式で開催。会員、職員、児童館や保育園の子どもたち、高等学院の生徒等から作品が寄せられ、絵画、写真、工芸、書道、手芸等91点の作品は9月末まで東京YMCAのHP上に公開されています。

■「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」のお知らせ 10月28日、会場:日本基督教団霊南坂教会、参加費:無料(会場で募金依頼)、出演:飯靖子氏(オルガン)・飯頭氏(ヴィオラ)・方波見愛氏(ピアノ)

担当主事 横山弥利

# ☆☆☆インタビュー☆☆☆ 村杉 一栄さんに聴く

東京北クラブ

\* \* \*



—お久しぶりです。東京目黒クラブの例会卓話で『浅草の話』を伺って以来かも。

「そんなになりますか」。

—一栄さんのお生まれは。

「東京・押上です。すぐに父の出生地福井へ疎開。昭和 21 年に浅草に戻りそれからずっと浅草です。3 人兄弟の長女で、父は金属彫刻の仕事でした」

—敗戦直後の浅草の町を覚えていますか。

「ひょうたん池（今の JRA ウィンズあたり）があり、花やしき付近に露店がいっぱいありました。池がつぶされ、今の六区になり、映画館・演芸場・ストリップ等、娯楽の街でしたね」

—どんな子でしたか。

「まじめな勉強が好きな子」

—村杉克己さんとは日曜学校の幼稚科から一緒だったんですか。

「知ったのはその頃らしいのですが、記憶にないのです」

—随分長いお二人の共通する時間を過ごされたのですね。

「主人はあの性格ですから絶対に聖日礼拝を守る人でした。私は子育てや家事、その頃は日曜日にしなければならぬことがあり、休むことができました」

—浅草の女の子って幼少期に、日本舞踊などを習うのですよ。

「6 歳になると習い事を始める習慣があり、日本舞踊を 6 年生までしました。落語家の桂小文治さんの家で娘さんから習いました」

—小学校、中学校で好きな学科は。

「好き嫌いはなくどれも同じ扱

いでした。中学受験をして跡見学園に入り短大まで 8 年間で過ごしました。中・高 6 年間はソフトボールに夢中になり、高校 1 年で国体に行きました。3 年の時は愛媛・今治球場で開かれた全国大会に出場しました」

—キャプテンだったのでは。

「はい。ポジションはサードで、長島茂雄選手に憧れていました」

—短大を出て、就職は。

「いわゆる花嫁修業というか料理・洋裁等に通いました。3 歳下の妹は就職しましたから、その辺が社会の変わり目だったかも」

—教会で一緒の克己さんと結婚されたのは、自然の成り行き。

「ええ。主人はシャープ電機に勤めていましたが、やめて父の仕事をしてくれると言ったのです。彫刻はすぐには出来ませんから、方向転換しつつ新たな分野に挑戦したのだと思います。カップ、トロフィー、メダルなど表彰用品、記念品の製造販売を始めました。朝から晩まで一緒に働きました」

—立派な事業を築られました。今は。

「主人が亡くなり、息子が継いで、私は経理だけやっています」

—克己さんをご存命なら今年 50 年でしたね。

—克己さんの叔父さんは、元日本区理事の故・抱井五郎さん、メネット・トヨ子さんは日本区第 10 代メネット事業主任ですから、入会前からワイズの話は聴かされていたのでしょ。メネットをどのように思い描いていましたか。

「私がメネットとしてワイズ活動にかかわった頃はメネットも活発で華やかな時でした。外に向けて活動をしていたと思います。憧れのまなざしで事業主任を見ていました」

—克己さんは、1973 年の東京グリーンクラブに入会しました。

「前の年に始まった準備会から動いていました。私は、東京グリーンのは子ども達も小さく、ク

スマス祝会に参加するくらいでした」

—8 年後に、下町地域（浅草）に YMCA をつくろうという構想から東京北クラブは生まれ、克己さんは浅草の仲間とともに移られたのですね。

「東京北クラブは最初からメネットと共の例会参加を呼びかけていたのでご夫婦で参加されていました。メネット会も年に何回か集まりファン作りも積極的にし、メネット優秀賞をいただきました」

—東京北クラブは、東京のクラブでは唯一シティーホテル浅草ビューホテルで例会をしていました。クラシック音楽好きのスマートなクラブでしたね。

「老舗の若旦那もおられました。ブリテンは齋藤實さんがリーダーで恰好よく、クリスマスはとにかく楽しく、家族キャンプも良い思い出です」

—東日本区メネット事業主査（委員長）を務められましたね。

「区が東西に分かれて動き始め、YMCA も大変な時期となり、メネット事業も YMCA を助ける運動にしましょうと切り替わった時期でした。新入会してもメネット活動参加に賛同が得られない方が増えました」

—東京北クラブでメネットからメンバーになりました。

「会員数が減り、苦肉の策で磯部幸子さん、神谷邦子さん、私の 3 人が加わりました。それぞれ役割を担い、私も会長を 2 年経験しました。

—現在のご趣味は。

「学生時代に広く物づくりの楽しさを学びました。今は編み物を楽しんでいます」

—ワイズに加わって良かったと思われることはなんでしょう。

「たくさんの友人が出来たこと、大会で会える喜びです」

—何かの時に浮かぶ言葉は。

「『まあ、いいか』でしょうか」

—有難うございました。（吉田明弘）



## 思い出を辿って⑨ 相撲部屋のおかみさん？ 村野絢子

名古屋中央教会の学生キャラバンは教会役員の江藤医院院長のお宅にまず伺い、食料などを沢山いただくのを常とした。そのころ、お嬢さんの嗣子さんはまだ小学生で、江藤夫妻に笑顔で送り出されて出発したことを思い出す。嗣子さんは大学卒業の翌年、富士桜関と結婚しました。

(2021年4・5月号に名古屋中央教会の記事でも紹介) 中澤嗣子さん(本の著者)は何と元富士桜関・中村部屋の親方夫人・おかみさんとなった。伝統のあるお相撲は知っていても、その社会のこ

と・どのような生活をしているのかは全く知らない方が多いと思う。大学院に通い「相撲部屋24時おかみさん奮闘記」にまとめられた。中央教会の東京会で、中村部屋に伺い、土俵の近くの畳の部屋で、激しい稽古の様子を見せて頂いた事もあった。山手YMCAの101ホールで表題の本について話される機会があり参加した。ご主人の親方も同伴されており、帰りにお茶をご一緒したのも良い思い出である。

又東洋英和小学部に勤務していた頃、嗣子さんのお嬢さんの希美子さんが在籍していて、運動会の父兄の部の綱引きに親方が参加されて大いに盛り上がった事も思い出す。

定年後暫らく鎌倉に住んでい

らしたが今は両国にお住まいである。8月中は妙高のご両親が建てられた別荘で過ごすとおかみさんではない嗣子さんの声であった。

11月の例会卓話をお願いすると、「相撲界も変化しているし、長く人前で話していないから無理よ」との返事であったが、私は諦めていない。

**朗報!**：交渉成立、粘り勝ち。嗣子さんは大丈夫と思っていた通りとなった。愛知県生まれで1974年に金城学院大学英文科を卒業した嗣子さんは翌1975年にお相撲さんと結婚、さらに部屋のおかみさんに。どうして?…。

11月例会でお聞きしましょう。お楽しみに…。

## 我がクラブの会員増強 施策 神谷 幸男

2022年7月1日現在の東日本区総会員数は794人とのことです。東日本区スタート時の1246人に比べて476人の減、比率62%。世界平和、人権が守られ福祉の行き届いた住みやすい世界の実現を願っての素晴らしい理念を持つワイズメンズクラブが、どうして世の中で受け入れられにくいのか、嘆いていてもことは始まりません。

Change! 2022 推進委員の方々を中心に多くの方々が会員層増強施策を提案されています。我がクラブもここ数年2~3名の増員を計画していますが残念ながら実現に至っていません。高齢者集団であることを言い訳にたくありませんが、ひとを惹きつけるような地域活動はできません。提案されている様々な手法、例えば「動画で分かるワイズメンズクラブ」カードについても技術的知識の貧困さが災いして活用できていません。聞くところによるとこの手法を盛んに活用しているクラブもあるようですが他方、この

カード導入後1年を経過しましたがまだ活用するに至っていないクラブも多くあるようですので、更に活用し易いように手直しも考えられているとのことです。技術的音痴の多い我がクラブでも活用できるようになるでしょう。期待したいと思います。

できることは、毎月の例会を今まで以上にワイズ理念に富んだ例会に人を招くことでしょう。

人を招きましょうと言ってもたやすいことではありません。個人的なお誘いでは限度がありますが、これと狙いをつけた入会候補者に対しクラブメンバーが入れ替わり立ち代わりに電話、手紙、電子メール、訪問等で例会参加勧誘の攻勢を仕掛けることなどが実りあると思われます。

まずは入会候補者のリスト作り。候補者の人となりやクラブ全員が共有すること。候補者毎の攻略手段、平たく言えばその人に合ったお誘いの(甘い)言葉を考えて出すこと。このためには打ち合わせ、会議が必要となります。時間も要します。しかし時間を惜しむ

と元の木阿弥となりましょう。

自分はこれを実行した経験もなく、したがって実績などあろう筈ありません。ただ、やってみなければなんの実りも期待できないと考えました。

## 編集後記

暑さとコロナとロシアのウクライナ侵攻のニュースと、そしてブリテンの編集に悩まされた8月でしたが、月末には秋を思わせる涼しさも感じさせられホッと一息つけました。クラブメンバーの皆様も同じ思いではなかったでしょうか。ここでひとつビジターは勿論、多くのゲストが争って来会するような楽しい例会作りに知恵を絞ってみようかと。

遅くなりましたが9月号を発行できる運びとなりました。原稿をお寄せ下さった方々に感謝いたします。

コロナ禍の収束は全く見通すことができませんが、旅行など、政府の制限が根拠なく緩和されてきましたので、少しは心に余裕が持てそうです。

涼しさも相俟ってこれからの例会参加が楽しみです。(S.K)